

報道発表

令和6年6月20日
名古屋税関
四日市税関支署

令和6年5月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

令和6年5月分について、輸出額は「プラスチック」などが減少したものの、「建設用・鉱山用機械」、「写真用・映画用材料」などが増加したことから、対前年同月比10.6%の増加となった。また、輸入額は「液化天然ガス」などが減少したものの、「原油及び粗油」、「石油製品」などが増加したことから、同30.6%の増加となった。

その結果、差引額は1,111億円（同52.4%の増加）の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	880億円	+10.6%	1,991億円	+30.6%	▲1,111億円	+52.4%
	10カ月連続の増加		2カ月連続の増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1)建設用・鉱山用機械	35億円	+88.2%	増加品目	(1)原油及び粗油	1,246億円	+66.4%	
		(2)写真用・映画用材料	23億円	+167.3%		(2)石油製品	85億円	+176.7%	
		(3)ゴム製品	40億円	+46.9%		(3)粗鉱物	9億円	15倍	
	減少品目	(1)プラスチック	39億円	▲12.7%	輸入	(1)液化天然ガス	161億円	▲40.5%	
		(2)映像機器	6億円	▲46.2%		(2)非鉄金属鉱	39億円	▲40.5%	
		(3)無機化合物	15億円	▲19.2%		(3)石炭	35億円	▲36.8%	
	地域別動向	アジア、北米が増加、大洋州は減少			地域別動向	中東、北米が増加、中東欧・ロシア等は減少			

（参考）ドルレートは、155.48円（前年同月比14.9%、20.17円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。